

第 9 回東陽地域審議会発言要旨

委 員	事 務 局
住民自治によるまちづくり行動計画(素案)について	
<p>「地域で考え地域で行動するまちづくり」で目指すもののなかで、自治・自律・自覚とありまね、たとえば自治・自覚はわかりますけど、自律になった場合はわかりにくい。たとえば、自己責任、自己決定な言葉になった時にもう少しパッと見てわかるような言葉はないでしょうか。こうすれば先がこういうふうなと、将来の夢につながる言葉を残したほうが良いのではないかと思います。</p> <p>地域住民と行政が協同でやるのが基本だと思います。 自律・自助・自分を助ける。自助精神ではないかと考えます。 そういう言葉はいかがでしょう。</p>	<p>現在いろんな形で自治会の活動状況とかを考えると、皆で自分たちの地域を守っていただくというような形からこういう言葉になりました。自律というのは、とうぜん地域のことは地域がわかっているから、それに合せ自治意識を高めていただき、当然行政もすべきことはしながら地域を支えて行くことです。現在、住民自治にかかわる連帯間がうすれてきている中で、もう一回取り戻していただき地域の自治を高めてほしい。実際どういったことをするかというと 39 頁以降に組織図として掲げています。</p> <p>補足させていただきます。私たちどうしても固い言葉を使っている。わかりやすい言葉に変えたいが、どうしても、こういう単語が並んでしまいます。適切な言葉があればご提案いただき、皆さんにわかりやすい言葉にしていきたい。</p>
<p>この計画から見れば、平成 24 年度には、全員、全校区実施するということですが、それまでにモデルケースを幾つか作られるということですか？これは限度とかないんですか、早く手を挙げるところ勝ちということですか。</p>	<p>地域の温度差があるので、出来るだけモデル地域は、うまく動いて、内容が整ってるところから 2~4 つの地域をさせていただくことになります。</p>
<p>これからのまちづくりの仕組みのところで地域の役割、組織をつくり「財源を確保します」、「事業を進めます」と書いてあります。 「事業を進めます」はわかりますが、「財源を確保します」とうところを具体的にもう少し説明してほしい。</p>	<p>地域活動を行っていくなかで、活動経費が必要になってくる。基本的には、それぞれ活動を行うためには、自分たちで自主財源を確保することになります。そして行政は、その一部について補助を行います。先ほど、17 頁にも補助制度の確立にも書いていますが、これまで協議会、団体に補助をしていたものは目的に応じて補助金の使い方は決まっていた。私たちが描いている住民自治活動支援補助金については、一括して地域に交付し、地域の中で、地域にあった使い方を決めていただくというものです。</p>

委 員	事 務 局
<p>モデル地域の設定については、校区全体を指定してモデル地域にするのか。地区内にはもっと小さい単位の自治会で実際にすばらしい活動しているところもある。そういう所をモデルにしながら、校区全体に広げて行ってもいいのではと思うのですが・・・。</p> <p>市としてはどういう考えでモデル地区を作りたいのかお聞きします。</p>	<p>モデル地域については、新たな住民組織を作り上げていく単位を基本的には小学校単位で原則としています。</p> <p>地域によっては、中学校区単位もあると思います。</p> <p>小さな単位での活動は実際にもう行われています。これからのまちづくりを進めるに当たっては、もうすこし広い範囲で校区単位を描いている。ただ校区単位となると、東陽には種山小学校、河俣小学校があるが、それぞれで作ってくださいというのではなく、それは地域の中で考えていただき決めて頂きたい。場合によっては中学校校区でいいのではないかと決めてもらってもいい。</p>
<p>「住民自治活動支援補助金」制度を導入しますとありますが、この制度とはどういうものか？</p>	<p>これまでの補助制度というのは、目的が決まっている補助金、支援金でしたが、新しい制度で地域の中で決めることができるよう一括して支払って行くものです。</p>
<p>委員さんの意見を聞いていますと、問題は、財源がどのくらいあるのかが気になります。指針というか、だいたいの計画を教えてください。</p>	<p>新たな補助制度ということで、財源確保については、非常に難しいものがある。現在、いろんな形でコミュニティ体制の助成補助金がありますが、できるだけ一つにまとめて、地域協議会に補助金を出す。規制をはずして地域が自由に自分たちのいろんな活動につかえるような補助制度になるようにいま検討している。</p> <p>金額については、できるだけ地域協議会が成り立つようにしたい。補助制度の素案ができたところで地域審議会へは説明したい。</p>
<p>私達、日頃仲間どうして、この問題につきましては話をしたことがあるのですが、まちづくりを立ち上げて行く中で、今現在それぞれ各施設、各団体に補助が出ています。それが年々カットされてきている。どこまでカットされるのか、はたして今後はやって行けるのかが心配である。運営にあたっての補助金のありかたについては事務サイドで十分議論される必要があるのではないか。</p> <p>これが今後は、今まで行政がやっていた部分を、住民組織でやって行く中で</p>	<p>今のご意見は今後の検討材料にしたいと思います。</p>

委 員	事 務 局
<p>は、当然、職員の人件費が浮いてくるが、その人件費は補助金に当てなければならない。そこで私は今の補助金よりプラスアルファで助成して行く必要があるのではないかと思います。十分検討をお願いします。</p>	
<p>この場をおかりしまして、皆さん方のご意見を聞きたいのですが、私達の地区の公民館が 21 年になって、床も畳も腐りかなり危ない状態になり、床の張り替えになれば、結構金額がかかるので、どうしようかとなりました。危ないので、張り替えることになり、自分たちでナフコに材料を買いにいった、自分たちでやることになって、これからは、こういう時代になっていくのだと思った。ただ安く、安く、すると結局長くもたない感じもする。2~3 年前から地区費も 5 千円~1 万円に上げている。施設の老朽化は何処でもおきてきていると思います。老朽化に伴う修理費も自分たちの地区から出していかなければならないか。他の地域の取り組みがありましたら教えて下さい。</p>	<p>公民館助成費があります。 限度額の 70 万円だったかと思います。補助制度もありますので利用して頂きますに。 窓口は公民館になります。</p>
<p>東陽地区に、軽の小型ポンプがあちこちに入ってきているが、どういうふうにしたら、入ってくるのか、私達の地域は山間部で今までの手押しのでは、人材が揃わなければ、動かせない、もしもがあった場合に困るので、また、区長さんに話したのですが施設を作るためには、市の土地でなければならない、その辺のところ何とかならないか。</p>	<p>逐次更新の時、小型自動車つきのものに変えていく計画。八代市全体にすれば、東陽町の設備は新しい方なので 20 年以上たたなければ更新の順番がこないようです。ポンプ格納庫については、東陽時代は補助制度であったが、八代市では消防設備については、全額市が提供する。そのため土地については、無償提供となっています。できれば、八代市に提供できる所、共有の土地がある所などを確保して頂き、消防担当者と地区代表と話し合いをして頂きたい。積載車については順番まちであるが、4 分団あるので起動力を上げるため各分団にまずは一台ずつの配置を考えている。</p>

委 員	事 務 局
<p>商工会も合併して2年目になります。予算もだんだん減ってきた。東陽の祭りとして、商工会が主になってふるさと祭りを実施している。本年度もある程度の予算もついたが、今後、だんだんと予算も少なくなった場合、この祭りはどうするのか、青年部、女性部も少なくなって来ている。今回、青年部は29日に会議をし、予算を考えている。女性部で、花いっぱい運動を定住センターの前で行っているが、これを住民自治のまちづくりにした場合に予算面で心配します。しょうが祭りは行政が全面的にしているが、ふるさと祭りや、花いっぱい運動とかの問題を行政は将来どのように考えているのか教えていただきたい。</p>	<p>一番難しい問題で、お答になるかわかりませんが、補助金が少なくなっ て行けば祭りについては、今後はすたれていくのではないかとのご意見で すが。 当然、考え方からいいますと、地域には、地域を愛する気持ち、いろんな 部分があると思います。ふるさと祭りについても、みなさんのいろんな賛 助金あたりで運営されてきて、現在にいたっていると思いますが、今後地 域として本当に必要な行事であれば地域住民を巻き込んだ形で、今後とも お願いして開催していくことになるかと思ひます。 今後、地域協議会ができてきますが、地域としてその祭りを存続してい くと決まれば、とうぜん配分も可能になるかと思ひます。</p>
<p>しょうが祭りについては、心配はないのですか。</p>	<p>しょうが祭りについては、現在委託料として昨年と本年度の金額につい ては、変わっていません。基本的には、当初予算では前年比5%減として 全体的の流れになっていますので、今後は少なくなる可能性はあります。</p>
<p>社会福祉協議会でもイベントに使える予算があると聞いています。総会が6 月にあると思いますので、そういうのを利用したらどうですか？（委員相互 のアドバイス）</p> <p>八代市は総社協とかの組織があると聞いています。 その中で公民館まつりとかで地域とのかかわりを聞いています。そういうの を参考にしたら（委員相互のアドバイス）</p>	<p>補助金の考え方について整理しておく必要があるようです。 財政的には毎年税収が下がっていく厳しい環境の中で、歳出予算は前年比 5%カットの流れです。しかし本当に必要な事業には予算を確保するとい う方向で財政サイドとは折衝しています。 それぞれの要綱にもとづいて実施している縦割りの補助金を、ひとまと めにして地域の皆さんが自分たちで配分できる使いやすい補助制度にしたい と考えています。 また自主財源の確保ですが、たとえば分別収集などで集めた空き缶を財 源にするなど、いろいろな場面で財源を検討していただくことができるよ うになります。 自分たちでやっていくんだという気持ちで進んでいくことが根底にあり ます。そのようになって初めて補助金はあると思ひます。また行政として も、人件費削減などの経費をまちづくりに回してほしいというような今日 のご意見も今後の検討にしたいと思ひます。</p>

委 員	事 務 局
その他（各課から前回の質問事項について回答）	
各課から前回の質問事項に関する追加説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 婦人会ですが、段ボール箱使用の生ゴミ堆肥事業については、6月8日の防災訓練の終了後に一時間勉強会をする予定です。 ・ 前回、地方バスの運行補助金を沢山出しているとの話の中で、一人年間千円分バスを利用すればいいとの話をききびっくりしました。今後地域の皆さんにもバスがなくならないように利用推進の周知をして欲しい。